

実施：2022年1月10日（月・成人の日） 旧KCK工場跡地

主催：第13回 浦佐地域合同賽の神祭り実行委員会

第13回

# 地域合同 賽の神祭り

年末になると賽の神祭りに向け、積雪の具合が気になり始めます。多すぎても少なすぎても厄介なものです。今年は大晦日までにまとまった降雪があり、普光寺境内の櫓の幹が折れるということもありました。

1/7(金)午後3時から小雪降る中、会場の踏み固めを12名で行いました。今年の積雪具合はどうやらバッチリなようです。

賽の神祭り当日の天候は曇り～晴れ間ものぞき、ほとんど無風状態で点火の際若干北東への風を感じましたが祭りには全く支障はありませんでした。新型コロナウイルス感染症が落ち着いているため、豚汁・甘酒等の振る舞いを行いました。振る舞いは人気で、用意した200食は完食していただきました。

前もって踏み固めを行っていたため準備はスムーズに進み、注連縄飾りなど大勢の皆様からお持ちいただき、立派な賽の神が今年も出来上がりました。ダルマの配置がアクセントでした。

午前9時、24名のスタッフが集合、3班に分かれて作業に取り掛かります。10時45分、和久井白山神社宮司による神事が始まりました。続いて11時に牛木大区長、坂西富町区長、井口跡地利用促進協議員、内田大和商工会浦佐支部長、関市議会議員、そして上村浦佐地域づくり協議会長の6名により賽の神に火が移されました。地域の方がスルメを焼く姿も見受けられ、賽の神も勢い良く燃え、小正月らしく一年間の無病息災を願う姿が見受けられたことは何よりでした。この一年間もよろしく願いいたします。

【2021年度賽の神行事 ◇収入173千円(繰越金72千円含む) ◆支出102千円 残71千円は繰越】

※祭りの様子をウェブ・チラシ等に使用させていただいております。

秋から準備、萱刈部隊！  
今年の顔ぶれ



今年の賽の神!!



事前踏み固め作業・・・12人で頑張りました!



よ〜く燃えました!

